

かい しょう 海城中学校

新しい紳士を育成する

グローバル教育部の取り組み

2012年、グローバル化に対応できる力を高める教育を充実させるため、海城中学校にグローバル教育部が新設されました。教育改革を進めてきた海城中学校が、これまでの教育をさらに進化させたグローバル教育部の活動について、グローバル教育部部長春田裕之先生、副部長岡崎行則先生にお話しをうかがいました。

次代の要請に応える グローバル教育部

海城中学校では、85名の高校募集を停止する代わりに2011年度から帰国生入試を導入しています。帰国生は1学年30名の受け入れです（定員320名）。海城の共生教育の理念のもと、一般の入学生と同等に8クラスに振り分けられ、英語を含めた同一の授業を受けることとなります。

昨年、そうした帰国生への学習支援のために設立された「帰国生支援室」を発展させるかたちで「グローバル教

育部」が開設されました。

「グローバル教育部」の使命は、これまでの帰国生の支援だけでなく、これまで一般入試での入学生にも海外に目を向けさせ、グローバル社会で活躍する人材を育成することです。そんな「グローバル教育部」の取り組みについて見ていきます。

1 帰国生の支援

帰国生入試で入学してくる生徒は多様なバックグラウンドを持ってきます。そうした生徒たちの現状把握とバックアップのため、中学1・2年生で

は頻りに面談が行われています。生徒本人には、必要に応じて随時面談が行われ、保護者とも年に2回の面談が設けられています。

2 海外研修の充実

現在、海城の海外研修制度には、中学3年生でアメリカ・バーモント州の姉妹校を訪れる約10日間のものと、高校1・2年生が約2週間イギリス・モバンを訪れるものの2つがあります。どちらも希望制で30名の定員ではありませんが、中学校の方で100名以上、高校の方でも70名以上の応募があるほど、大変人気を博しています。

この海外研修が生徒の知的好奇心を大いに刺激しているそうです。

「将来アメリカの大学に進学したいという生徒や、高校在学中に留学したいという生徒のほら、この海外研修を経験した子どもたちです。こうした海外での経験が相当な刺激になるようです。このため、同様の機会拡充を検討しています」（春田先生）



グローバル教育部 部長 春田 裕之 先生

3 在学生の留学支援

昨年から、在学生の留学を支援する制度が新しく設けられました。これまでは1年間の留学をした場合、休学扱いとなり、日本に帰ってきた場合、また元の学年に戻る必要があったのですが、1年の留学にかぎり、留学中に取得した単位（36単位）を認定し、帰国後進級した学年に戻ることができるようになりました。

ただ、だれもがこの制度を利用できるわけではないところに海城の厳しさがあります。学習状況が芳しくなければ、留学自体も認められません。また、現地での成績によっては、原級留置措置となることもあります。

この制度を利用し、昨年8月から留学し、戻ってきた生徒もいます。

4 海外大学進学への支援

近年、海外の大学への進学を志望する生徒が出てきたことから、グローバル教育部でも早急に支援態勢を整えています。

「海外の大学への進学者数を強引に増やそうという気持ちはありませんが、社会情勢がそのようになってきています。希望する生徒のために、書類の作成などを含めてできるだけ協力していくことです」（春田先生）

「日本の大学とは違い、海外の大学に進学するためには、社会との接点を持った活動をしているということが重要になってきます。つまり、これまでどんなことをしてきたかが問われますし、推薦状にはそうしたことを書きます。今年アメリカの大学に進学する生

徒は、高1〜2の間に模擬国連に参加していました。

そうした活動への参加機会を与えるようなことも今後行っていきたいと思っています」（岡崎先生）

今年の2月に開かれた、中1〜高2までを対象にした海外大学進学講演会では、20〜30人の参加者を想定していたそうですが、300人もの親子が参加したそうで、海外の大学進学に対する注目度の高さが現れています。

5 英語教育の充実

中学生の希望者を対象にしたネイティブ教員が行う英語の特別講座が行われています。これは英検準一級レベルの生徒に対し、英語を使って理科や社会の勉強を週1回80分で行うものです。「学年で曜日を分けて行っています。

英会話のよう

に、ただあいさつをするのではなく、英語で自分の考えを発信する力を維持、

発展させるというのがコンセプトです」（岡崎先生）

また、今年か

「今後、学校のなかでの帰国生の割合が増えてきます。海外大学への進学も増えてくるでしょう。それに対して、まだ我々の対応は不十分ですから、組織として専門的に指導できるようにな

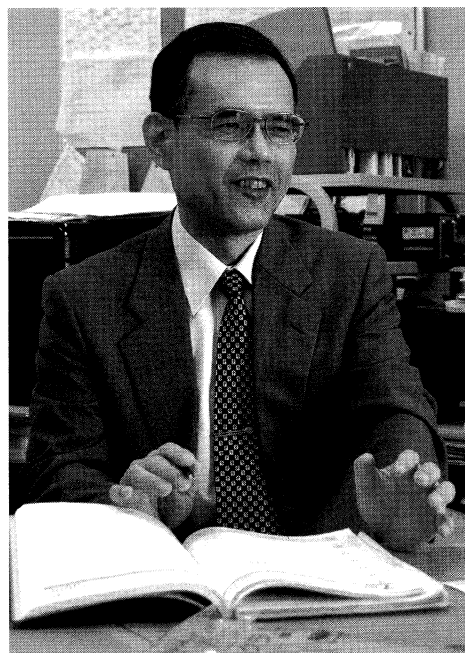
制を整えていきます」（春田先生）
こうした海城の教育は、いま新たなステージへとさらなる進化を続けていきます。

説明会日程

（一般入試）			
日程	時間	定員	予約受付開始
9月14日（土）	13:00~16:00	個別相談会 （学園祭・見学自由）	予約不要
9月15日（日）	13:00~16:00	個別相談会 （学園祭・見学自由）	予約不要
10月8日（火）	10:00~	400名	※
10月9日（水）	10:00~	400名	※
10月10日（木）	10:00~	400名	※
10月19日（土）	13:30~	400名	※
10月26日（土）	13:30~	400名	※
11月16日（土）	13:30~	400名	※

（帰国生入試）			
日程	時間	定員	予約受付開始
10月12日（土）	10:00~	400名	※

※申し込み、申し込み方法、予約開始日時は決まり次第HPに掲載



グローバル教育部 副部長 岡崎 行則 先生



海城中学校

東京都新宿区大久保3-6-1
TEL 03-3209-5880
URL <http://www.kaijo.ed.jp/>